

(19) 慶應義塾普通部「^{めじ}目路はるか教室」

<p>教育の対象者 中学生 教育の実施者 慶應義塾普通部 教育プログラムの企画者 「目路はるか委員会」 普通部代表の5名の先生と同窓会の会長、副会長で1997年に組織された</p>
<p>教育プログラム企画の背景・経緯 慶應義塾普通部百年記念事業のひとつとして始まった事業。 節目の百年にあたり、OBの試した経験を何よりの財産と考え、それを現在・将来の普通部生に伝える機会を設け、在学を啓発する。 1997年の秋に普通部代表の5名の先生と同窓会の会長、副会長との話し合いの中で、「現役普通部生と卒業生が出会う場」としての「目路はるか教室」を企画。 講師の人間的な暖かみや迫力などは講演会だけでは伝わりにくいため、「塾」のような授業形式をとることにした。互いに学び合う「塾」の人間同士の結びつきの中からこそ「自ら学ぶ」という姿勢が育ち、自由な発想が可能になると考えている。 週6日制から週5日制への移行を視野に入れ、土曜日を自然と実社会の体験的実学の日として活用したいと考えていた。</p> <p>教育プログラムの目標 教育理念である「自ら学ぶ普通部」を新しい時代に継承すること。 新しい土曜日授業のあり方、先輩が後輩を導く新しい学校形態の提案</p> <p>教育プログラムの目的 現役の生徒が卒業生の話聞き、予測不能な社会に立ち向かう気概と資質を備えた人材を育てることを目的としている。</p>
<p>教育プログラムの内容 実施期間・回数・頻度・延べ時間 ・1998年開始。 ・毎年10月の第一金・土曜日に開催。 ・普通部生が自らコースを選択して履修する1時間を想定。</p> <p>実施場所 ・学校内</p> <p>対象者の人数規模 ・全体講義は学年全員を対象。 ・選択する第2部のコースは、1講座20人程度を対象。</p> <p>プログラムの内容 ・全体講義(第1部)は学年全体で、記念講演を聞く。 ・第2部のコース授業は経済・学術・芸術・文化・スポーツ等各界で活躍する、もう少し若い先輩に、Face to Faceで人生観や体験談を聞く。 ・1999年度のコース別のテーマを以下に整理する。 1年生向けコース 「自由と責任、英国流スポーツマンシップ」・「芸能、音楽、マスコミ」・「普通部、塾高校での挫折と立直りの出来事」・「デザインする喜び」・「チャンスを生かす考え方～新規事業～」・「TVのバラエティー番組の制作」・「音楽を通じて感じること～キーボード演</p>

<p>奏～」・「アイススケート」・「技術移転～インドネシア工場建設～」・「成功の法則」 2年生向けコース 「東京、関西、香港の違い、香港での会社設立」・「国際金融」・「通信技術、蝶の研究」・ 「ラグビー、オックスフォード大学、社長業について」・「音楽とは音を楽しむこと～ギター演奏～」・「普通部時代、空手を始めたこと」・「国際人、ファッションについての国際化」・「自分を信じる、才能に気づく、勇気をもって行動する～日本画～」・「徳川博物館～歴史的なものを守る～」 3年生向けコース 「「複雑系」の紹介、ソフトウェアのビジネス」・「企業における広報の重要性」・「バングラデシュの人々と自分にできること」・「技術協力を通して見る東南アジアと日本」・「商品開発、宣伝と国際戦略」・「ゴルフトーナメントのプロデュース、解説」・「中国の中学生の素顔、アジアとの交流の進め方」・「建築家をめざすまで」・「救急医療室からのメッセージ」・「人工知能研究、生命情報科学、DNAとは」</p> <p>講師 ・OB OB委員と教員から構成される「目路はるか委員会」によって、実業界、学术界、芸術界、スポーツ界、その他の社会活動の幅広い分野から選ばれる。 第1部は1人(1998年は各学年別で計3人)、第2部では各学年10人ずつの計30人。</p> <p>使用教材 ・特になし</p>
<p>行政・企業・地域社会による支援の状況 多彩な分野にまたがるOBが講師の要請を受けて、協力している。</p>
<p>照会先 「目路はるか委員会」(慶應義塾普通部同窓会内) ・〒223-0062 神奈川県横浜市港北区日吉本町 1-45-1 ・TEL:045-562-1181(代表)</p>

(資料)慶應義塾普通部ホームページ <http://www.kf.keio.ac.jp/>